

特集

ライブラリカフェ開催



附属図書館では平成27年度に開催したラウンジトークの後継事業として今年度は「ライブラリカフェ」を開催することになりました。

ライブラリカフェは、一方通行ではない先生と学生とのコーヒー（無料提供）を飲みながらの語り合いの場です。月1回のペースでさまざまなテーマをもとに討論を行っていきます。

第1回目は平成28年6月24日（金）16:00から約1時間にわたり医学研究科・中根明夫教授と医学生5名が参加して「感染症と社会問題」をテーマに、新たにオープンした弘大カフェ（外国人教師館）で行われました。会場となった弘大カフェは弘前大学の前身である旧制弘前高等学校の外国人教師館で大正時代に建てられた洋風建物です。この大正ロマンあふれる趣のある場所で、来場者には普段体験することのできない臨場感たっぷりの先生と学生との専門性の高い白熱トークバトルを目近でご覧頂けたのではないかと思います。

今回カフェでは、感染症には地域や人種・宗教・所得・社会システムなど多くの社会的な要素が関与していること、発展途上国における貧

困層での「顧みられない熱帯症」や「HIV感染と所得や教育レベルの問題」などがあること、これらの背景にある先進国と発展途上国の経済途上国の経済格差等に目を向けながら感染症について、熱い討論が繰り広げられました。

当日は、佐藤敬学長もお越しになって、討論にも飛び入り参加されました。カフェ前半では緊張していた参加者も後半では緊張も和らぎ、来場者からの質問にも気軽に応えるなど、会場が一体となって盛り上がり、終了時間を過ぎても討論が続けられていました。

カフェでは、来場された皆さんにもコーヒーが無料で提供されますのでコーヒーを味わいながらトークをお楽しみ頂けます！カフェ当日、その場に来場できない方のために、ライブラリカフェの様様を You Tube Live を使って生放送いたします。また、当日の You Tube Live をご覧になれなかった方もご心配なく！カフェの様様は録画して You Tube で配信もいたしますので、附属図書館 HP「ライブラリカフェ」からお楽しみ頂けます。

どうぞご利用下さい！



第1回ライブラリカフェ討論の様子



第1回ライブラリカフェ会場「弘大カフェ」

今回来場して下さった方の中から2名の方にカフェを聴講しての感想を寄せて頂きました。

【教育学部2年 三橋 美保さん】

"白熱した話し合い"まさにそんな雰囲気でした。解決が難しい「感染症」という話題に、さまざまな角度から切り込みを入れた意見が出されており、ここまで考えられるものなのかと感心でいっぱいでした。時折フロアからの意見も取り入れ、新たに議題として話し合っており、「感染症と社会問題」のテーマを深く掘り下げていました。意見を出すことはできずにいましたが、聴講するだけでも勉強になりました。

また、そのテーマひとつをとっても、医学的な見方、理工学的な技術、社会の実情把握、薬学、教育の必要性などすべての学部が繋がることに気づくこともできました。

これほど白熱した討論ですが、あっという間に感じられるほど、有意義な時間でした。

【人文社会科学部2年 中村 麻希さん】

改装された旧外国人教師館でトークイベントがあると聞き、面白そうだと思って参加させて頂きました。建物の2階に上がってコーヒーをいただきながら待っていると授業を受けたことのある先生もいらっしゃっておお…と思いました。そうこうしているうちに中根先生のイントロでトークが始まり、SARSやエボラ出血熱など世間を騒がせた問題が取り扱われました。難しい話題でしたが、語句の解説などもさりげなく入れられていたのでわかりやすかったです。

医学部の皆さんの熱い志に触れ、質問・疑問にも快く答えていただくことができ、充実した時間が過ごせました。こういう問題を考えるきっかけをもらえてよかったと思います。

第2回目のライブラリカフェは平成28年7月21日(木)16:00から附属図書館2Fオープンラウンジで開催されました。

「続・感染症と社会問題」をテーマに、第1回目引き続き医学研究科・中根明夫教授と医学生3名の他、人文と教育から2名が参加者として加わり、社会問題を中心に医療・地域社会・教育の問題まで多方面からの深い話し合いが行われていました。内容はとても専門的なものでしたが、カフェの来場者からは「とても興味深くためになった」などといった感想も聞かれ、カフェが終了しても熱心にカフェ参加者とお話される来場者の姿も見られました。

第3回目以降のライブラリカフェの予定は附属図書館ホームページに随時掲載していきますので、今後のライブラリカフェに、どうぞご期待下さい！



第2回 ライブラリカフェの様子